

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和元年9月11日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 全国の地籍調査は、もう終盤を迎えた自治体や、完了している自治体もありますが、天童市の地籍調査は、平成26年度からようやく開始され、寺津地域から行われています。地籍調査は、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界、面積の調査を行い、法務局に登録するものです。</p> <p>現在の地域の状況は、耕作放棄地の増加、農地の貸借、空き家の増加等が増えています。そのため、土地の境界が分からなくなる事例が増えていると思われます。一刻も早く、土地の境界等を明らかにする必要がありますので、一層の地籍調査の促進と、干布地域への早期着手をお願いします。</p>	<p>農林課</p>	<p>天童市の地籍調査については、国の指導により、災害の発生する恐れが高く、緊急性の高い区域から実施しており、平成26年度以降、最上川沿いに広がる浸水想定区域である寺津地区、蔵増地区、成生地区の順で調査を進める計画です。</p> <p>地籍調査については、費用が相当かかるため、国の交付金を活用しながら計画的に進めてまいりたいと考えていますので、御理解と御協力をお願いします。</p>
<p>② 3年前のまちづくり懇談会でもお願いしました信号機新設の件です。その際は市から、「信号機の要望は多くの地区から出されている。」との回答で、それ以降はお願いしてきませんでした。次の2つの交差点は危険だと多くの人を感じていますので、今回、再度要望させていただきます。</p> <p>1つ目は、運動公園東通り線と市道荻野戸芳賀線の交差点。ここは、4年前に死亡事故が発生しています。</p> <p>2つ目は、市道運動公園東通り線と市道東長岡三本松線の交差点。ここも事故が多発しています。</p>	<p>生活環境課</p>	<p>市道運動公園東通り線と市道荻野戸芳賀線の交差点については、市の重要事業要望として県に対し要望を行っています。しかしながら、信号機の設置については、県内で多くの要望があり、早期の設置は厳しい状況です。</p> <p>そのため、信号機が設置されるまでは、交差点付近の樹木の伐採をしたり、道路反射鏡を設置したりして、見通しの良い交差点となるように努めています。</p> <p>市としましては、今後も、引き続き県公安委員会に対し要望してまいりますので、御理解をお願いします。</p>
<p>③ ここ数年、上荻野戸地域において「黒星病」の被害が拡大して</p>	<p>農林課</p>	<p>リンゴの黒星病は、市内の他の地域でも発生しています。</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和元年9月11日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>苦勞しています。「黒星病」は、リンゴに多く発生し、市内のリンゴ園地でも既に深刻な問題となっています。一度発生すると収束が難しく、10日に一度の消毒を行っても完全に防ぐことができず、結果としてリンゴの収穫量が激減してしまいます。</p> <p>一番の原因は耕作放棄地です。たった1年でも手入れをせず放置した畑の果樹は、害虫や病苦の巣窟となり、周りの園地が防除を行っても改善が困難です。また、耕作放棄地の所有者に樹木の伐採をお願いしても、なかなか伐採してくれません。</p> <p>このままでは黒星病が蔓延し、農業をやめる方が多くなってしまいます。農業をやめる場合は、樹木を伐採するなどの奨励や仕組みをつくっていただけませんか。</p> <p>果樹園を放任した場合や、果樹栽培をやめる場合は、果樹の伐採を義務付けるような条例を制定していただきたいと思います。</p>		<p>県や農協などが、県内各地で調査したところ、その発生状況は県全体に広がり、特に天童市や東根市など村山地域で多く発生し、市内でも地域差があるようです。</p> <p>そのような中、9月9日に県主催の黒星病対策会議があり、その対策としては、十分な薬液量で散布することや、樹間を広くして枝が込み合わないよう整理すること、散布間隔・散布回数を守ること、さらに来年のために被害落葉を取集し処分することなどが有効とのことでした。</p> <p>市では、県や農業委員会、農協、実行組合、果樹部会と話し合いを重ね、黒星病の被害を無くすために、遊休農地など管理されていないリンゴの樹木への対策などを検討しているところです。</p> <p>また、今後とも、県や農協などの関係機関と連携を図りながら黒星病の撲滅に向けて対応してまいります。</p>
<p>④ 耕作放棄地は拡大しています。そのような場合は、所有者に声掛けをして果樹を伐採したり、農地を貸し出したりするよう勧めてもなかなか承諾いただけないケースがあります。このまま放置できませんので、地域の実行組合や農協の力で、伐採できる強制力のある制度ができないでしょうか。</p> <p>そして、伐採できるようになった場合は、機器の油代やお昼代な</p>	<p>農林課 農業委員会</p>	<p>耕作放棄地解消のために、地区の農業委員や農地利用最適化推進委員が対象者を訪問し指導を行っていますが、農地の賃貸や売買を勧めても承諾いただけない場合が多く対応に苦慮しています。</p> <p>耕作放棄地については病虫害発生のも原因にも考えられることから、市では現在、県や農協、各地域の農業者団体と話し合い</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和元年9月11日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ど、1回で2万円程度を補助してもらえれば、それを呼び水として地域に呼びかけ、耕作放棄地が減少するようにしていきたいと思っておりますので、そのような制度をつくっていただけないでしょうか。</p>		<p>を重ね、耕作放棄地など管理されていない樹木の伐採作業ができる地域や団体への補助などを検討していますので御理解をお願いします。</p> <p>樹木の伐採にあたっては所有者の承諾を欠かすことができませんので、伐採への理解が得られるように市としても力を入れてまいりますので、地域の皆様の御協力をお願いします。</p>
<p>⑤ 市道神明堂線道路改良工事について、今年7月に市から説明がありました。早期着手についてお礼申し上げますとともに、予算等の問題もあるかと思いますが、第一中学校への通学路でもありますので、側溝入替や県道への接続等のすべての工事が早期完成するよう、よろしく願いいたします。</p>	建設課	<p>市道神明堂線は、地域からの要望を受け、平成28年度より事業を進めており、今年度は、令和2年度の工事着手に向け、電柱移転などを進めています。</p> <p>今後も、早期完成に向け努めてまいりますので、御理解をお願いいたします。</p>
<p>⑥ 昨年5月に「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定され、干布地区でも「まゆはきの丘芭蕉の句碑」がその構成文化財となっています。昨年は、県・市による様々な事業が、干布や津山地域で実施されたところです。</p> <p>昨年、教育長からは、今後3か年に渡ってこの事業を実施するというお話でしたが、今年、市内では5月の山寺から天童方面へのウォーキングを行ったのみです。今年度、市内ではどのような事業を予定しているのでしょうか。</p> <p>次に、昨年は、天童ラ・フランスマラソンの開催に合わせて、山</p>	生涯学習課	<p>日本遺産「山寺が支えた紅花文化」の活用については、県や関係市町、関係団体等で「山寺と紅花」推進協議会を構成し推進しています。</p> <p>昨年度の事業として、市内各所に案内板や解説板を設置しましたが、今年度は、関係市町として、新たに大石田町と白鷹町を加え、国内外に向けた更なる情報発信や、インバウンドを視野に入れたモニターツアーの開催を10月に予定しています。そのほか、案内ガイドの養成や、紅花文化継承を担う人材の育成なども計画しています。</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和元年9月11日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>寺と紅花ののぼり旗を干布地域に設置しました。1年も経つと、破れたり汚れたりしていますので、今年のマラソン大会の前に、新しいのぼり旗に更新していただけないでしょうか。</p>		<p>日本遺産に係る事業については、関係団体等と連携を図りながら、地域活性化等につなげてまいりたいと考えていますので、地域の要望等がございましたらお寄せいただきたいと思います。</p> <p>また、御指摘いただいたのぼり旗については、天童ラ・フランスマラソン前に、新しいものと交換させていただきます。</p>
<p>⑦ 8月31日の新聞に、モンテディオ山形の新スタジアム建設についての記事が掲載されました。記事の内容は、モンテディオ山形が、新たなクラブハウスを県総合運動公園内に建設するため、県に対し要望書を提出したというものでした。</p> <p>この記事を見て、モンテディオ山形の新スタジアムが、天童市内に建設される望みが高まったと感じました。新スタジアム建設については、市を挙げて、一丸となって取り組まれますようお願いいたします。</p>	<p>文化スポーツ課</p>	<p>新たなクラブハウスの整備については、モンテディオ山形が、J1に昇格し多くの県民にさらに愛されるチームになるため必要な施設であり、新たなスタジアム建設に向けた環境整備の一つであると考えられます。</p> <p>また、県総合運動公園は、交通の要衝にあり、スタジアムの立地には最適な場所であると考えており、引き続き県民の皆様には本市の考えを理解していただくよう努力してまいります。</p> <p>新スタジアム建設については、新スタジアム推進事業株式会社や株式会社モンテディオ山形の動向を注視しながら、一つひとつ丁寧に課題解決に向けて取り組み、本市のまちづくりとして提案できるよう適切に対応してまいります。</p>
<p>⑧ 去年は、モンテの選手が原町地内に住んでいました。その時、原町町内会では、選手へのサポートが大事なのではないかと話題になりました。同じ町内会のメンバ</p>	<p>文化スポーツ課</p>	<p>ホームタウン活動は、チームと市民が一体となつてつくり上げていかなければならないと考えています。その中でも、普段の生活の中に、ホームタウンが溶け込</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和元年9月11日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>一として交流を深めたところで</p>		<p>んでいくことが重要であります。市民の暮らしだけでなく、選手の暮らしも同様であり、選手たちが快適な環境で生活し、ゲームで最大のパフォーマンスを発揮できるよう、市として支援できることを調査検討してまいります。</p>
<p>⑨ 石倉農村公園に行くには、農村公園と合わせて整備された農道を通っていたのですが、スーパー農道が整備されてからは、スーパー農道を通って公園まで行けるようになりました。</p> <p>そのため、公園まで通じる以前からの農道は使われなくなり、現在は獣道のように荒れてしまい、農村公園に行く際は、私有地を横切って行き来しています。私有地へ立ち入るのは好ましくないため、地域の実行組合では、自分たちで荒れた農道の手入れをしようとしています。災害発生時は、この農村公園も避難場所に指定されていますので、石倉農村公園に接続する農道を再整備していただけないでしょうか。合わせて公園用の駐車場の整備をお願いします。</p>	<p>農林課 都市計画課</p>	<p>農道の舗装整備については、地区からの要望を取りまとめ、優先順位の高い農道から順次、整備しています。また、舗装整備を実施するに当たり、農道沿いの土地権利者からの同意や工事に支障がある樹木等については、伐採していただくようお願いしています。石倉農村公園に接続する農道については、要望状況や現況確認を行いながら対応してまいります。</p> <p>また、公園の整備については、多くの御要望をいただいているため、平成26年度に周辺集落の公園整備に関する基本方針を策定しました。その方針では、集落公園施設として、遊具や休憩施設等は整備していきませんが、駐車場の整備の予定はありませんので御理解をお願いいたします。</p>
<p>⑩ 干布地区は、モンテディオ山形の応援や、ラ・フランスマラソンのボランティアなど、地域住民が協力して頑張っています。また、東京四谷小との交流も長年続いている地域です。</p> <p>干布地域のイメージや、干布地域に期待することをお伺いします。</p>	<p>市長公室 生涯学習課</p>	<p>市長就任以来、干布には何度もお邪魔しています。四谷の交流事業では、毎年大変な御苦勞をされていると思いますが、中学生、高校になっても世代を跨いで繋がっていくこのような事業を大事にしてほしいと思います。また、干布地域は正にモンテディオ山形の本拠地であり、仮にスタジ</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和元年9月11日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>アムが建設されることになれば、そのまちづくりの中核として頑張っていたきたいと期待しています。また、天童ラ・フランスマラソン大会では、いつも沿道で多くの皆様から声援を送っていただき感謝しています。年々充実している大会となりましたので、引き続き皆様からの御支援をお願いいたします。</p> <p>干布地域の皆様には、干布の魅力を高めながら、世代を超えたまちづくりを継続してほしいと思います。</p>